

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>〈修士課程〉</p> <p>薬学研究科の教育理念およびカリキュラム・ポリシーに基づいて設定された科目を学修し、薬と健康に関わる多様な職種 of 専門家に必要とされる知識・技能・態度を身につけ、2年以上在学するとともに修了に必要な単位数を修得した上で、修士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、修士（薬科学）の学位を授与します。</p> <p>〈薬学専攻博士課程、薬科学専攻博士後期課程〉</p> <p>薬学研究科の教育理念およびカリキュラム・ポリシーに基づいて設定された科目を学修し、薬と健康に関わる多様な職種 of 専門家に必要とされる知識・技能・態度を身につけ、各専攻の定める修業年限以上在学するとともに修了に必要な単位数を修得した上で、博士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、博士の学位【博士（薬科学）、博士（応用薬科学）、博士（薬学）あるいは博士（臨床薬学）】を授与します。</p>	<p>本研究科ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような人材養成の方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>薬に関する幅広く高度な専門知識と優れた研究能力を兼ね備えた薬剤師、高度な薬学的専門知識と科学的思考力を身につけ、薬学分野で広く研究・技術開発等の高度の専門性を有する研究者・職業人を育成するために、創薬系科学、生命科学、臨床系科学を幅広く身につける編成とします。</p> <p>研究指導においては、複数の指導教員が担当し、学生・教員間のディスカッションを十分に行うという教育手法により、学生の理解と研究力を高めます。</p> <p>また、教育課程の評価については、修了年次に提出する学位論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>本研究科は薬学専攻と薬科学専攻の2専攻から成り、次のような資質を持つ人を受け入れます。</p> <p>「立学の精神」とそれに基づく教育目標に賛同し、創薬や健康などに関連する高度な専門性を有する研究者・職業人、もしくは、高度な研究能力を有する薬剤師を目指す人で、各課程が定める修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）およびその教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、各専攻が掲げる知識や技能、意欲を備えた人を求めます。</p>